

2019年度入試結果速報(豊山版)

今年の大学入試も、あとは国立大学の二次試験や私立大学の中期・後期日程などのみとなりました。定員の厳格化などにより「今年の受験は厳しい」という話があるなか、付属生でありながら果敢に一般受験へ挑戦したみなさんは、結果とは別に、非常に貴重な経験を得られたことでしょう。

そんな彼らの受験結果も少しずつ報告されていますので、今回は入試結果の速報をお知らせします。

まず、日本大学には12月までに各種推薦入試で医学部1名を含む384名(79.3%)の進学が決定していました。また、一般入試でも23名が日本大学に合格しています。その多くは、N方式という付属生が無料で受験できる入試によるものです。

そして、他大学へは、推薦で57名(11.7%)が進学を決めています。また、一般では早稲田大学や上智大学などの難関大学も含めて47名が合格を決めています。今年の特徴は、推薦でも一般でも関西圏の大学の合格者が出たことでしょうか。

この後は早稲田大学や慶應義塾大学などの難関大学、そして国立大学の合格発表があります。良い結果が出ることを祈りながら待ちましょう！



【鈴木鷹】

高1 小論文講演会報告

2月20日(水)3・4時間目に、第2回小論文テスト(リライト)を実施しました。テストに先立って返却された添削答案(第1回小論文テスト:1月16日(水)実施)の、あまりの低評価に目を疑う生徒たち。

それもそのはず、張り切って書いたはずの小論文の大多数が、実は単なる「作文」だったのでから…。

そこで、まずは3時間目に教室モニターを使用し、(株)学研アソシエイツの長尾真弓先生の講義を受け、「小論文とは何か」から始まり、読み手を説得させる論理展開の方法まで学びました。そして、新たに得たその知識を駆使し、4時間目のリライト(書き直し)に臨みました。返却予定は3月20日(水)の修了式。結果が返却されるのを楽しみに待っててください。



【今井真】

高2 保護者対象大学費用講演会(報告)

2月23日(土)多目的ホールにて、高2保護者対象に大学費用講演会を実施しました。当日は300名近い保護者にご来校頂きました。内容については、まず付属推薦の流れを確認し、実際に入学時にかかる金額、初年度納入金、さらに現高3の進路状況、そして家庭でのコミュニケーションを密にしていきたいことなどをお伝えしました。なお、当日欠席され、配布した資料が欲しい方は、担任まで申し出て下さい。



【田島】

2019年2月23日現在の合格者状況



日本大学			他 大 学		
	推薦	一般		推薦	一般
法学部	一部 34 二部 9	4	防衛大学校		1
文学部	41	6	早稲田大学	1	2
経済学部	73	4	慶應義塾大学		
商学部	47		上智大学	4	1
芸術学部	6	1	東京理科大学	7	
国際関係学部	6	4	学習院大学	1	9
危機管理学部	9	1	明治大学	3	5
スポーツ科学部	3	1	青山学院大学	1	5
理工学部	79	1	立教大学	1	3
生産工学部	28		中央大学	2	4
工学部	4		法政大学	1	1
医学部	1		関西大学	1	
歯学部	0		同志社大学		1
松戸歯学部	1		立命館大学	2	
生物資源科学部	34	1	近畿大学		5
薬学部	5		明治薬科大学	1	
短期大学部	三島	2	東京薬科大学	2	
	船橋	2	埼玉医科大	1	
小計	384	23	その他の大学	29	11
合格者数	407		小計	57	48
			合格者数	105	

2020年度から調査書が変わる!!

大学進学のために必要な書類のひとつに「調査書」があります。「調査書」とは、生徒の高校生活を網羅的に記録した書類で、生年月日や現住所、学習の記録から生活の記録まで多岐にわたって生徒の情報が記載されるものです。

その調査書の様式が現高1が受験する大学入試から変更されることとなりました。以下に調査書の様式変更についてのイメージ図を示します。なお、現高2までの調査書については、昨年Compassで詳しく紹介していますので、ホームページでバックナンバー(2017年度3月号)を参照してください。



◎今までは両面1枚に制限されていたが、複数枚にわたって記載できるようになる。
◎部活や資格、課外活動などについて記入欄が増え、詳しく記入される。

図に示したように、様式の変更によって部活動や取得資格、課外活動についての記入欄が増えることになります。そのため、現高1の皆さんは今のうちから部活動や資格取得に力を注いだり、部活ではなくても高校生活の間で、主体的に様々な活動に取り組むという経験を積んでおくことが大切になります。また、もう一つ大切なことが、タブレットなどを用いて、ポートフォリオ(活動記録)にその活動から何を学び、その活動を通してどのように成長したのかを記録しておくことです。

そして、2021年度入試から「大学入学共通テスト」が導入されるのと併せて、調査書や出願者本人が記載する資料(志望理由書等)を積極的に入試に活用する大学が増加する見込みとなっています。学校推薦型選抜(現・推薦入試)、総合型選抜(現・AO入試)ではもちろん、一般選抜でも調査書等を活用すると発表している大学も複数あります。

以上のことから分かるように、今後、大学受験(特に他大学受験)を目指す場合には、自らの諸活動をきちんと記録するという習慣を身に付けることが必須になると言えるでしょう。 【松本】

高2社会人セミナー

3月12日(火)に、キャリア教育の一環として、高2を対象に「16歳の仕事塾」が実施されます。18名の講師の先生による多彩な講座が設けられ、生徒はそのうち2講座を受講します。以下は、講師の先生の会社名と授業のタイトルの一覧です。

	授業タイトル	講師会社名
1	ブータンに魅せられた写真家が考える、自分の仕事と生き方	写真家
2	世界トップエンジニアとの出会いが私を変えた	AI-creatures合同会社
3	プロデューサーの仕事	LEGIT株式会社
4	日本の未来を支える『組み込みコンピュータ』	UCサロン
5	どうして薬は飲んで効くの？ 何事にも理由がある！	〇〇製薬株式会社
6	エンジニアはオモシロイ	エコアンドアートテクニカ
7	こんな時代だからこそ専門店面白い！	㈱ヌーヴ・エイ
8	好奇心が道を決める！	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所
9	使いやすさを科学する仕事＝ユーザビリティの仕事	ソニー株式会社
10	私はなぜこの仕事を選んだのか？	株式会社コンテンツブレイン
11	自信の築き方を知るう	Findinglife
12	研究開発から新規事業へ	株式会社リコー
13	人生100年時代にグローバル企業で活躍するには	経営・キャリアコンサルタント
14	噴火災害復興から福祉まで	元京都職員
15	想いをかたちに	清水建設株式会社
16	弁護士という仕事、その広がり	弁護士法人Next
17	周りから見た自分、周りに活かされる自分	富士ゼロックス株式会社
18	震災報道と新聞記者の仕事	毎日新聞社

何かの職業に興味を持ったら、ぜひ本校図書館に足を運んでください。入室して正面にある棚には、様々な職業についてのガイドブックが取り揃えられています(『獣医師になるには』『理学療法士の日』など、紹介しきれないほど多数の蔵書があります！)。実際にその職業に就いている方へのインタビューや業界の見取り図など、ためになる情報が満載です。読みやすいので中学生の総合学習(「職業調べ」)でも活用されており、「はじめての一冊」に最適です。

【竹原 & 青木智】

編集後記

進路選択には情報収集が欠かせません。特に、何年と継続されてきた制度が変更されるのであれば尚更。大学入試制度が変更されるのは、現在高1の君たちからです。皆さんの親御さんも、ご兄弟も、我々教員だって、誰も経験したことがありません。だからこそ、学力と同様に情報収集力も磨いてください。膨大な数の中から本当に自分に必要な情報を選択できるのは、他ならぬ自分だけなのですから。

【今井真】

3学期も残すところあとわずか。この1年で進路について考え、何か行動しましたか？ 高3になって慌てても、すでに手遅れであることが多いです。まず自分の現状を把握して、どうしていけば良いのか考えてみましょう。Compassはそのお手伝いができます。ぜひバックナンバーを読み返してください。最後に、ある有名な5才児の言葉を贈ります。「ポーっと生きてんじゃねーよ！」

【青木智】

本校ホームページで2年分のCompassを閲覧できることが、みなさんの間でも随分定着してきたように思います。進路に対する意識の高まりでしょうか。新高3には、この春休みのうちに、1年分をまとめ読みしておくことをすすめます。4月の頭から各自でスムーズに動けるように、必要な進路の知識を得ておいてください。

【竹原】

今年度は高3の担任として、多くの生徒の進路選択を目の当たりにしました。そこで感じたことは、「早期に行動することの大切さ」です。評定平均が若干足りなくて出願できない・基礎学力到達度テストの最終順位がもう少し上位であれば、希望の学部学科でセレクションを通過できたといった生徒が沢山いました。やはり、先を見据えて早期から行動することが大切です。Compassが、その気付きのきっかけになってくれれば嬉しく思います。

【松本】

お知らせ

2月号でもお知らせした3月9日(土)開催の付属生対象法学部オープンキャンパスですが、本校では38名の希望者がいました。付属全体では約500名(うち150名が保護者)となり、予定した10号館のキャパオーバーで会場が変更(近日案内します)となるようです。なお、本校は保護者の参加が0名ですので、再度ご案内いたします。参加希望される方は、2月中に担任まで申し出てください。

過日、お知らせしました「基礎学力到達度テスト過去問題集」について、来年度から高2用も販売します。販売日は3月6日(水)・7日(木)の11時～13時(7階 commonspace)を予定しています。プリントに必要な事項を記入の上、現金で購入してください。

高2用 国語・数学・英語(1冊に収録)	3,500円
高3用 国語・数学・地歴公民・理科	各1,800円
高3用 英語(リスニングCD付)	2,000円

さて、スタディサブリですが、今年度の利用者数合計は519名でした。そして、来年度からは高1がスタディサブリ全員導入となりましたので、現中3(内進生)には別途案内を致します。また、現中1、中2、高1、高2の生徒については、2月27日(水)のHRで利用調査を配布しますので、新規または継続利用を希望する生徒は、3月7日(木)までに希望用紙を提出してください。なお、来年度は、年間6,000円になります。

【伊藤秀】

Compass編集部 (高校進路指導部)

編集長：伊藤 秀 樹 (進路指導主任)
 編集部員：今井 真 吾 (高1 進路担当)
 " : 竹原 邦 子 (高2 進路担当)
 " : 青木 智 宏 (高2 進路担当)
 " : 松本 和 也 (高3 進路担当)
 " : 鈴木 鷹 理 (高3 進路担当)
 " : 田島 寛 之 (進路指導副主任)

月
日
直

今年は自分自身が高3の担任ということもあり、様々な入試に関わり、考えてきました。そのなかで強く感じたことは「やっぱり高3でバタバタしてたらマズい」ということです。どのような入試でも、高2までにどれだけの準備をしたのか、どんな勉強してきたのか、オープンキャンパスにはどれほど行ったのか…そういった行動を起こす助けとなるようにCompassを書きました。Compassを読んだこともないという人が周りにいたら「ちょっと目を通すだけでも違うよ」と教えてあげてくださいね。

【鈴木鷹】

進路選択というのは、自分の人生を決めるということです。付属生であるが故、テストの点数や学部学科の名前だけで決めてしまう人も多いかとは思いますが、その選択が今後の人生にずっと影響することを忘れて覚えておいてください。自分の進路選択に対して、主体的に、かつ積極的になってほしいと思います。楽をするための付属校ではありません。その分だけ、しっかりと個々の学部学科を知って、自分に合う選択をしてください。

【田島寛】

1年間ご愛読ありがとうございました。今回で第99号となりましたCompassですが、年間11回発行していますので9年間も続いたことになります。編集部員の入れ替えもありましたが、生徒たちが「進路」で迷子にならないように羅針盤(=Compass)となろうという想いは今も変わっていないと思います。来年度で10年目を迎え、そして4月号は第100号となりますCompassをよろしく願います。

【伊藤秀】

次回4月号は、4月8日(月)発行予定です